

幼児クラス（4歳児）

活動人数 9名

活動日 令和7年5月1日～
令和7年11月31日

活動時間 10:00-11:30



テーマ

形遊び

<テーマの設定理由>

電車遊びが好きな子どもたち。自分たちでいろいろな形に線路を敷いては電車を走らせて楽しんでいました。ある日坂道レールの使い方を知った子どもたちはいろいろなポイントに坂道を作って遊び始め、電車が坂を勢よく走っていく様子を夢中になっていました。「どうして勝手に走っていくの?」「もっと長い坂道を走らせよう!」保育者の問いかけから、形、転がる興味へと発展していきました。

どこで何をします?

<活動スケジュール>

- 電車遊び(6月19日)
- 丸い物探し/丸い物遊び(6月23日)
- コロコロちゃん遊び(7月3日)
- お団子作り(7月24日)
- 砂場遊び(11月4日)

何が必要?

<環境デザイン・準備物・環境設定>

- カメラ(記録用)、iPad(検索用)
- 廃材
- 机、段ボール
- 紙粘土
- 砂場(バケツ、スコップ水)
- プロジェクター

実践記録

電車遊び

<活動内容>

【2025年6月19日】 温度23.4度 湿度47%



電車遊びをみんなで行った。

平坦な線路を床一面に繋ぎ合わせられるスペースが保育室にありそこで電車を走らせて遊んでいると、ある子どもがアーチ状の線路を手に取りそれを平坦なレールに繋ぎ合わせていた。

「あっちの線路と繋げようよ!」

「ここは行き止まりにしよう。」

自分で想像した道を作ったり、相談しながら繋げてみたりとても楽しそう。

「見て!ここはポコッとした道だよ!」

その発言を聞いて他の子どもも真似して平坦なレールの間にアーチ状の線路をはめていく。

所々デコボコした線路が加わった道が出来上がり「うわーガタガタ道だー!」と盛り上がりながら夢中になって走らせていた。そこでアーチ状の線路の下にはめられるパーツをコソッと置いておくとそれに気づいた子どもが、

「あ、これ使ってみよう」手に取り小さなデコボコ道から角度の付いた坂道へと変身させていた。

「見て!ピューと走るよ!」手を離すと勝手に加速して走っていく電車が面白くて何度も何度も電車を行き来させながら遊んでいた。

又、「どうして電車が勝手に走れるんだろう?」という保育者の呟きに「電車には丸い車輪が付いてる」事を教えてくれたので次の活動に繋がった。

<活動内容>

丸いもの探し/丸いもの遊び

【2025年6月23日】 室温23度 湿度43%



「保育園のどんな所に丸い形が隠れているか探してみよう！」と保育者の声掛けに園内を歩き回り丸い形をみんなで見つけた。

「時計が丸いよ！」

「コップも丸い！」

「水道の取っ手も！」

いろいろな場所に丸い形をした物がある事を発見した。

「でも、これはどうして丸い形をしているんだろう？」

保育者からの投げかけに、

「可愛い形だからじゃない？」

「飲みやすいからかな？」

いろいろな理由を考えて発言していた。

他にも掃除機や職員室の可動式キャビネットワゴン、コットの台などにもタイヤが付いている事に気付かされると、

「タイヤが付いてると運べる！」

その形の意味や便利さに気付く姿があった。

その後話し合いの中で簡単な模型を使って、三角や四角ではうまく車輪が回転しない事を知らせ丸い形だから回転する事を気付かせた。

そして今度は生活の中にも隠れているいろいろな形の廃材を出してみると、

「あ！これ丸いから転がりそう！」

さっそく床を転がす姿が見られたので、どんな転がり方をするのか試してみようと机と段ボールを組み合わせて坂道を作りコロコロ遊びへと発展していった。

<活動内容>

コロコロちゃん遊び

【2025年7月3日】 室温25.8度 湿度56%

丸い飲み口の紙コップ、はさみで丸い形に切った画用紙に顔を描いて自分のミニミニ人形を作った。

「ミニミニ人形を遊ばせてあげよう！」

坂道を滑り台に見立てて滑らす子どもたち。

しかし思ったようにスムーズに滑らず試行錯誤していた。

そこで丸いビー玉を出し、紙コップの中にビー玉を入れて手を離すと勢いよく滑っていく事を知らせた。

「ビー玉が中で転がってる！音がするよ！」

「競争しよう！」

大興奮で遊ぶ子どもたち。

次第に他の廃材も組み合わせてトンネルを作ったりボーリングの様に当てて楽しんだり遊びが発展していく様子が見られた。

自分で作ったミニミニ人形を大切に扱うと共に、コロコロ転がるから“ころころちゃん”とみんなで愛称を付けて呼んでいた。

又、この時にビー玉を手のひらでお団子を包むように触る様子も見られた。



<活動内容> お団子作り/砂場遊び

【2025年7月24日 温度26度 湿度50%】

【2025年11月4日 温度19.2度 湿度45%】



紙粘土遊びを行った。柔らかい粘土の感触を楽しみながらいろいろな形を作って遊ぶ子どもたち。

次第に丸めて「お団子！」と食べ物に見立てて作る姿も見られた。

「丸い月みたい！」

「沢山くっつけて芋虫」

「白いビー玉！」など一つの丸い形から様々な丸い物に例えながら話し遊んでいた。

そこで紙粘土は乾かすと固まる事を知らせた。

自分たちでも形が作れる面白さ、乾いて固まった紙粘土団子を使って再びコロコロちゃんて遊ぶ姿があった。

「保育園の裏に砂場が出来た！」

子どもたちに伝えるとワクワクしながら園舎裏に設置した砂場(水道あり)へ向かった。砂遊びの経験が少ないので最初から口出しはせず子どもの様子を見守りながら自由に砂遊びを始めていった。

サラサラの砂の感触を楽しむ子、スコップやバケツおわんを使って井ぶりを作る子、山作りに励む子など思い思いに遊ぶ姿があった。次第に最初は受け皿カップとして使っていた型を、ひっくり返して型抜きに挑戦しようとする姿が見られた。

しかしうまく型が取れず何度も苦戦する姿も。

又、お団子の様に固めようとしても固まらない事にも気付き始めた。すると経験のある子どもから、

「お水があれば固まるよ」

との会話が聞こえてきたのでお水を投入。すると、

「型抜き出来たよ！」

「トンネルが掘れた！」

水の力で砂が固まりやすくなった事を実感していた。

そして砂でもお団子作りに挑戦！

力加減が難しく何度も壊れてしまう子が沢山いたが、だんだんと力加減や手の動きが分かり団子作りが出来る姿が増えていった。又水の量を考えたり、泥とサラサラの砂を混ぜ合わせる秘訣に気付いたり、子どもたち同士で教え合うような会話も多く聞かれた。



振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

クラスの子どもたちが好きな電車遊びをきっかけに、形への興味、工夫し考える事の面白さ、様々な素材に触れる経験を行えた。

遊びの中で子どもたち同士がアイデアを出し合う会話が増えていたり、周りからの刺激を受けて真似してみようと意欲的になる姿もあった。

「やってみたい！」と自分から思った事は、たとえ思うようにうまくいなくても、何度も諦めずに挑戦してみようとする。

今後も子どもの「やってみたい！」という気持ちを引き出せるきっかけ作りを見つけ、遊びや活動から繋げていける保育を大切にしたいと思った。又必要な場面で投げかける言葉の大切さも改めて感じる事が出来た。

・活動を実施した月の職員会議で写真をプロジェクターで投影し、保育者同士で意見を共有しながら活動の振り返りを行った。

・ホームページで保護者にも共有する。